弘前学院大学
看護学部

2022年度版
教員紹介・出張講義紹介

弘前学院大学にはどんな教員がいるの？
どんな研究をしているの？
大学で学ぶとは？

目次

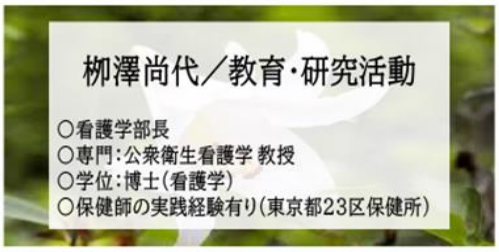
柳澤　尚代（学部長）　・・・・　1
佐藤　厚子（学科長）　・・・・　2
大瀬　富士子　・・・・　3
高田　まり子　・・・・　4
舘山　光子　・・・・　5
土屋　陽子　・・・・　6
三上　聖治　・・・・　7
阿部　智美　・・・・　8
井澤　美樹子　・・・・　9
宇田　宗弘　・・・・　１０
川村　泰子　・・・・　１１
幸山　靖子　・・・・　１２
菅原　大輔　・・・・　１３
田中　真実　・・・・　１４
小野　綾　・・・・　１５
齋藤　史恵　・・・・　１６
高橋　義孝・村岡　祐介・・・・　１７
對馬　明美・松坂　朋美・・・・　１８
木田　優子・村上翔太郎・・・・　１９

出張講義テーマ一覧　・・・・　２０-２１

お申し込み・お問い合わせ先

弘前学院大学　〒036-8577　青森県弘前市稔町１３－１
公開講座委員会（出張講義依頼に関すること）　・　入試広報センター（入試に関すること）
TEL０１７２－３４－５２１１（代）　FAX０１７２－３２－８７６８
E-mail：koukai@hirogaku-u.ac.jp

＊ご希望の講師・テーマ・日時・場所（会場）等をうかがった後、本学の「公開講座委員会」において、派遣を正式に決定いたします。
＊本学の行事日程などによって、ご希望に添えないこともあります。ご了承くださいますようお願い申し上げます。
＊講師料は無料です。講師の交通費も不要です。



《 研究テーマ(1) 》

1)児童虐待予防に繋がる保健師の支援記録の質保証に関する研究
(1)「児童虐待予防に繋がる保健師の記録様式標準化と記録に関する教育プログラムの開発・評価」
【平成29年度文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））】
(2)「児童虐待予防に繋がる保健師の支援記録の質保証のためのチェックリストの検証と評価」
【令和3年文部科学省科学研究費助成事業（基盤研究(C)（一般））】

2)離島における連携の仕組みづくり3)健康な生活づくりを推進するうえでのプレコンセプションケアの課題

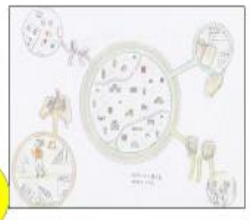
3)配食ボランティアの活動満足感

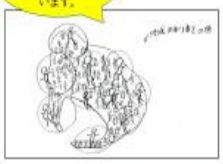
教育実践(1)

～公衆衛生看護概論編～

【担当科目】

- 基礎演習
- 対象論
- ソーシャルスキル
- 公衆衛生看護学概論
- 公衆衛生看護活動論
- 公衆衛生看護方法論
- 公衆衛生看護管理論
- 保健医療福祉行政論
- 健康危機管理論
- 健康教育論（理論）
- コミュニティ活動展開論（地域診断）
- ヘルスプロモーション論
- 学校保健論
- 地域連携論
- 看護関係法規
- 研究方法論
- 家族看護学
- 公衆衛生看護学実習／看護統合実習
- 卒業研究





学生に保健師活動の“イメージ図”を書いてもらい、公衆衛生看護学の理解を深める教育実践を行っています。学生は他の学生が描いた図を見ることで、理解が深まると語っています。

研究活動(2)

【児童虐待予防に繋がる保健師の支援記録の質保証に関する研究】

私の著書です。

公衆衛生看護系の学会で毎年ワークショップを開催し、新しい研究成果に基づいた問題提起をしています。

○1999年に公衆衛生看護記録研究会をつくり2002～03年、2017-18年、2020－21年に保健師ジャーナルに研究成果を連載し2004年に「医学書院」から「こう書けばわかる！保健師記録」の本を出版しました。
○2003年以降、全国で300回以上の研修会に参加したり、公衆衛生系学会でワークショップを開催するなど、問題を提起し、共に考える場をつくっています。
○文部科学省科研費の助成を２回受け、研究を継続して行っています。

2自治体にて、フィールドワークを行っています。

教育実践(2)

～公衆衛生看護学実習編（保健師養成）～

公衆衛生看護学領域では、既にち年前から実践しています。

母性看護学領域でもイメージ図を実践しています。

《公衆衛生看護学実習の報告会は、創造的で楽しいです！》

○実習は、自立した生活を送る人々や自宅で療養中の住民を対象とする保健所や市町村にて行います。
○報告会は、ポートフォリオの考え方を参考に独自に生みだした方法で運営しています。
○主テーマは「保健師らしい活動だと思った事柄」、サブテーマを決めイメージ図を描きます。
○グループワークにて、実習で「見聞きしたこと」「助言されたこと」「観察したこと」「調べたこと」など多様な情報を統合し、自由な発想でイメージ図を作成しています。

新しいメンバーでグループをつくり、自由な発想で進めます。

○イメージ図作成の動機は、どのグループも教科書の丸写しのような内容しか発表しない報告会の在り方に疑問を持ったことです。

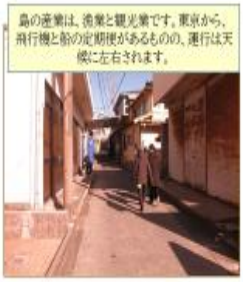
○イメージ図を通しての説明は、複雑な事象をわかりやすく可視化できる点にあります。

研究活動(3)

～連携の仕組みづくり～

研究テーマ：離島における保健・福祉の連携の仕組みづくり

○私は、2011年頃より「東京都島しょサポーター」として多様な活動を行っています。
○5年前から開催している5歳児健診において、神津島内の「保健・福祉の連携の仕組みづくり」を研究テーマに、他の専門職と共同研究を実施しています。
○神津島の人口は1844人で、減少傾向にあります。
○東京都は、島しょ保健所の出張所を各島に開設し、保健師・獣医師・栄養士を常駐しています。
○島内には、診療所が開設され医師2名を交代で常駐している。村は保健師を2名を正規雇用しています。



島の産業は、漁業と観光業です。東京から、飛行機と船の定期便があるものの、運行は天候に左右されます。

○東京都の伊豆七島には、9つの有人島があり、保健師は村の採用と、東京都採用の保健師が働いています。
○なお、東京都の保健師は2年交代で勤務しています。

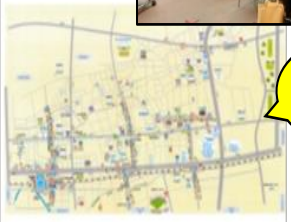
村立診療所と保健センターが同じ建物にあります。

《 社会貢献 》

1)渋谷区圏域地域ケア会議のメンバーおよび100名の住民の方々と、地域診断を実施しました。
2)研修会を開催する前に、地域包括支援センターの職員の方々と共に、認知症の区内分布図、本町・ささはた地域の社会資源をマッピングした地図、人口の年次推移などのグラフを作成し、当日はグループワークにより「健康に過ごすための生活資源」を考え、それらを貼り付けた“資源ツリー”を作成しました。

時間		内容
2:00～2:45	45分	主催者挨拶 講義：地域診断”で健康課題を見つけよう！
2:45～3:20	40分	＜グループワーク＞
		1）テーマ：グループで地域シートを使って地域診断をする。
		2）“本町・ささはたツリー”作成のため、社会資源を書き出す。
3:20～3:50	30分	＜グループワークの発表＞
		1）5グループが発表する。（1グループ3～4分以内で発表）
		2）各グループ間で、質疑応答を行う。
3:50～4:00	10分	・発表に対する講師のコメント
		・どのようなことが印象に残ったのかを参加者に書いてもらう。 ・閉会挨拶

100名の住民と健康に暮らすための生活資源を考えました



たくさんの生活資源を地図に記入し、可視化する事を心がけました

転倒予防スリッパの開発

転倒予防効果が明らかに!!

1日10分
履くだけ!!

日本では高齢者の年間転倒率は10～30％です。転倒は骨折と死亡の重要な原因です。高齢者の転倒の原因の1つは、加齢により前脛骨筋（つま先を上げる筋肉）の筋力が低下することです。私たちは鉛ビーズ（400 g）を足背上に置いた転倒予防スリッパを開発しました。12か月後、スリッパでトレーニングしたグループはバランステストの点数（バーグバランスとPOMAスコア）が大幅に改善しました。転倒者も大きく減少しました。

転倒予防スリッパ

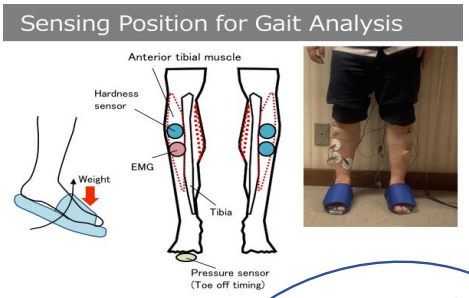
足背にはおもりが付いている

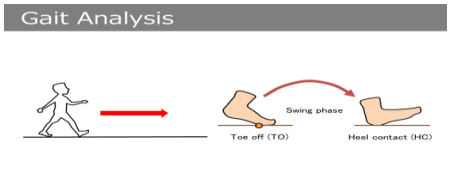
特許出願中

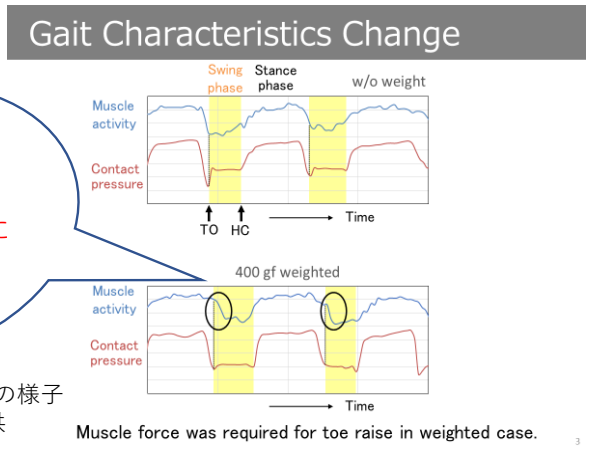
転倒予防スリッパは、大きなスペースを占める高価な器械なしで、転倒予防ができます。

Satoh A.,et al. Geriatric Orthopaedic Surgery & Rehabilitation. 2021.

なぜ転倒予防効果があったのかを実証実験







スリッパをはくと
筋肉（前脛骨筋）に
長時間力が加わる

図. センサーによる筋肉運動の様子
弘前大学　藤崎和弘先生提供

皆さんの今の生活が将来につながります。
高齢期の健康を
一緒に楽しく
考えましょう!!

医学博士・教授
＜主な担当科目＞
老年看護学概論
佐藤厚子

大瀬富士子　OOSE FUJIKO　母性看護学教授、文化科学修士、助産師

［担当科目］　母性看護学概論　母性看護方法論　母性看護援助論
リプロダクティブヘルスライツ　次世代育成ケア論

［講義の一部　母性看護方法論］

生まれたばかりの赤ちゃんが、お母さんのお腹から生まれて
子宮外生活に適応していますか？
体温、心拍数、呼吸数、体重測定、黄疸計測、排泄、授乳状況など観察をして、
経過が良好か判断します。
「赤ちゃんの状態により、今何をしなければいけないか考え看護します」

［講義の一部　リプロダクティブヘルス/ライツ］
wrongful life(ロングフルライフ)wrongful birth(ロングフルバース)
皆さんはどのように考えますか？

［研究テーマ］
＜胎児に障がいを持つこと－出生前診断－＞
障害があるなしにかかわらず、安心して育てられる社会であってほしいですね

＜自然な分娩＞
赤ちゃんが子宮の中を回旋して生まれてくることや、第一呼吸のことなど

＜プレコンセプションケア＞

妊娠してからではなく、妊娠前からの健康な生活を見直しましょう。

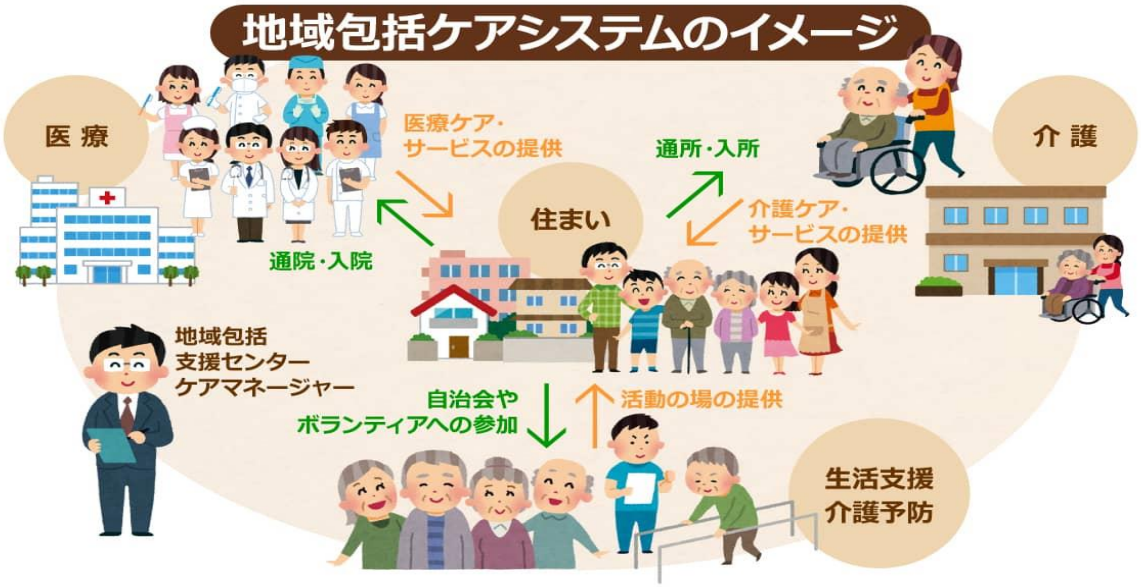
【高校生へのメッセージ】
看護師の役割はとても大きいものです。一緒に考えてみませんか。

高田　まり子　TAKADA　MARIKO（教授）看護師　学術修士

【担当科目】在宅看護論　ケアマネジメント論　在宅看護方法論　在宅看護援助論
在宅看護実習　看護統合実習　基礎演習　卒業研究など

【主な研究テーマ】1 在宅における災害看護　2 在宅看護実習における学生の学び
3 コースポートフォリオを用いた教育実践

諸外国に例を見ない速さで進む日本の高齢社会の中で、高齢者のみならず、障害児・者を含む地域のすべての人々が、病気や障害があっても、よりその人らしく、住み慣れた地域で暮らし続けられるような*地域包括ケアシステム*と、その一翼を担う看護師の役割を学びます。



在宅看護実習は、病院などの医療連携室や、訪問看護ステーション、療養通所介護事業所、地域包括支援センター等で「地域システム全体」を見渡しケアできる看護師を目指しています。
★例えば、訪問看護ステーションでの看護師の役割とは？そこでの防災対策は？

館山　光子　TATEYAMA Mitsuko　教授　　看護師　看護学博士

【担当科目】

救急看護
リスクマネージメント（医療安全）
成人看護学Ⅲ・Ⅳ（手術をした人・急性疾患の人の看護）
基礎演習　研究方法論　卒業研究　など

【授業紹介】成人看護学Ⅲ　「手術を受ける患者の看護」

Q．胃の手術をしたのに呼吸が苦しくなる患者さんがいるのはなんで？

Q．右足の手術をしたのに左足が腫れてきたのはなんで？

A．手術を受けたことによるトラブル（術後合併症）を起こし
命にもかかわることがあります。

手術部位に限らず起こるため注意が必要ですが、
看護師と患者さんが一緒に協力することで予防が可能です。

術後合併症を予防し術後の回復を促進する看護を学びます

【主な研究テーマ】

救急看護に関する事
心筋梗塞患者の心理・生活に関する事
看護師の継続教育に関する事

土屋　陽子（TSUCHIYA　YOKO）

教授（成人看護学慢性期看護担当）

・担当科目：成人看護学概論、成人看護学（慢性期看護学）、緩和ケア論、成人看護学実習他
・研究テーマ：合併症をもつ糖尿病患者への看護支援他
・高校生へのメッセージ：
看護の仕事を続けるには一生学び続ける姿勢が大事です。
一緒に楽しく学んで、自分自身で持っている看護の芽を大きく育てましょう！

臨床経験７年余、大学教員経験３０数年で、ずっと慢性疾患を持つ患者様とご家族への支援をおこなったり、慢性期看護を専門に大学生等への教育に携わってきました。研究は慢性疾患を持つ患者様が、その人らしい生活を構築できるように支援するには、看護としてどうかかわっていったら良いかを、臨床の看護職の方々と一緒に模索してきました。そろそろ（十分？）自分としては看護の集大成の時期に入っていると思いますので、これからは、看護教育だけでなく、また慢性の病いをもつ患者さま、ご家族への直接的なケア（支援）ができる場所の確保・構築に向けて、残りの活動期間を使っていけたらいいなと考えています。

三上　聖治 Mikami Seiji Ph.D.　教授　医学博士

【担当科目】　公衆衛生学 疫学 保健統計学 看護情報システム論 情報処理 統計学の基礎 など

【主な研究テーマ】　循環器疾患の疫学

人はどうして病気になるのだろう

・きちんとした食事をしないから　？

・十分な睡眠をとらないから　？

・運動不足だから　？

・ばい菌が体に入るから　？

それぞれ、どうすればたしかめられるでしょう

長生きの秘訣を見つけるにはどうすればいいだろう

1.長生きした人に聞いてみる
　記憶はあいまいだし・・・
　同じ生活をして亡くなった方の話は聞けない

2.動物実験をしてみる
　実験動物のような行動制限を人にはできない

疫学は、たしかめかたの案内してくれます・・

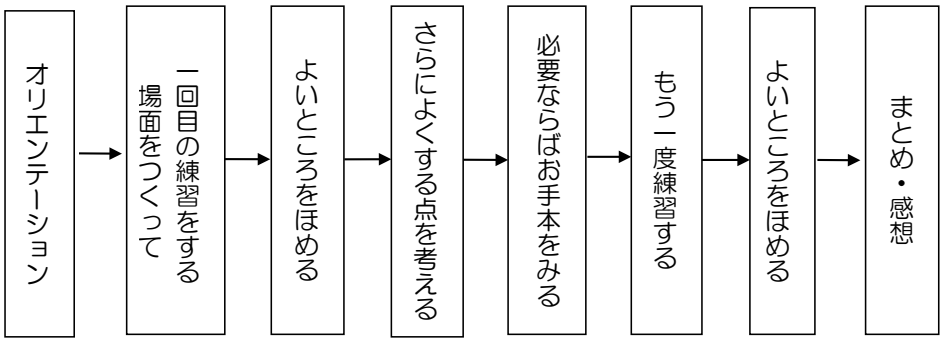
【高校生へのメッセージ】多様性や持続性は地球環境のこと　？　人社会のこと　？　！！

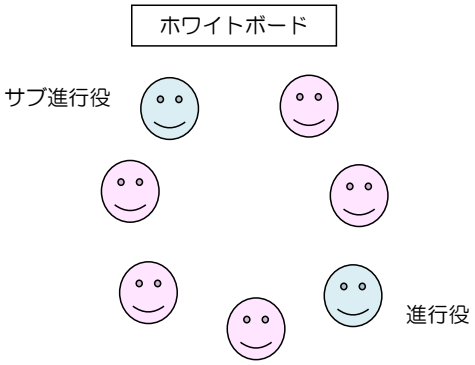
阿部　智美　ABE　TOMOMI（准教授）　看護師　歯学博士

【担当科目】基礎看護技術論　基礎看護技術演習ⅠⅡⅢ　基礎看護学実習ⅠⅡなど
【主な研究テーマ】看護場面のコミュニケーション
【研究紹介】ソーシャルスキルトレーニングの技法を用いた看護学生のコミュニケーショントレーニング

看護学生は患者さんとのコミュニケーション場面で、悩むことがあります（どのように答えたらよいかなど）。そのような時のために、ソーシャルスキルトレーニング（基本訓練モデル）の技法を用いたコミュニケーショントレーニングを考えました。

コミュニケーショントレーニングの進め方





グループで取り組みます！

参加した看護学生の感想のまとめ
- 悩みを分かち合えた
- 患者さんの気持ちになれた
- 非言語的コミュニケーションが学べた
- いろいろな対応方法が学べた
- 自信につながった
- 次の実習に活かしたい　など

【高校生へのメッセージ】一歩ずつ積み重ねながら、
一緒に学んでいきましょう

井澤　美樹子　IZAWA　MIKIKO（准教授）　看護師　人間科学修士

【担当科目】　成人看護学Ⅰ　成人看護実習Ⅰ　リハビリテーション論　基礎演習　卒業研究など

【主な研究テーマ】　1.病いとともに生きる人の看護　　2.認知変容教育プログラムの構築

1.病いとともに生きる人の看護

仕事をしながらインスリン注射を打つなんて、無理だ。仕事人間として失格だ。。。

看護はどうあれば良いか？

目の前のAさんをどのような存在として捉えるかによって看護は大きく違ってしまう。。。Aさんは、患者ではないのだ！！

Aさんは、患者役割として医療者に従うだけの人ではない。生活体験と感情を含む個人史を持ち、自分のことを自分で決める力をもつ生活者なんだ！

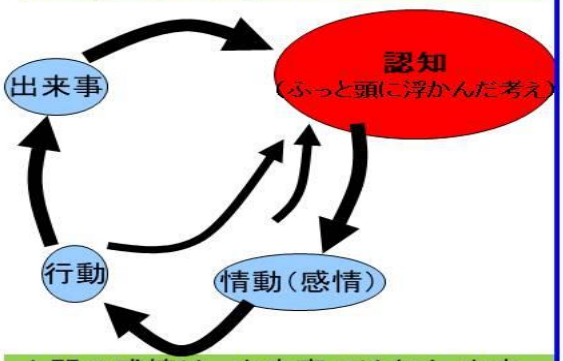
2型糖尿病と診断された50歳の会社員Aさん。1日3回のインスリン注射が必要。

慢性疾患という治癒しない疾患のある人が、豊かな存在であるために看護はどうあれば良いのか。
目の前の人は、患者ではないのです。このように、看護学はもちろん、哲学、文化人類学そして心理学などの視点から深く考えることで、看護が見えてきます。

2.認知変容教育プログラムの構築

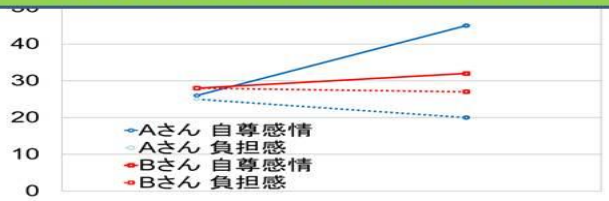
病いとともに生きる人には、生活習慣を変えたり、治療を継続したりなど、これまでとは違う行動が求められる（＝行動変容）。そのような方々に看護は何が出来るのかを探求したい！

やる気になると、人は行動ができる。不安に思うと行動できにくい。
では？やる気や不安という感情はどのように作られるのか？



人間の感情は、出来事ではなく、出来事をどのように捉えたかという**認知**によって形成されている。

研究1．認知を変えることで感情に変化があるのか？



研究1の結果：糖尿病患者さんの認知が変わることで、自尊感情や療養に対する負担感が軽減した。
→認知を変えることに関わることは効果がある。

科研基盤C（課題番号23593238）

研究2．認知変容に看護師が関わるための看護師教育プログラムを作りたい！どのようなプロセスが必要か？

研究者・糖尿病専門の看護師と一緒に作った。現在継続中

【高校生へのメッセージ】すぐに答えを求めず探求することで、看護の面白さが見えてきます。
大学で一緒に、わくわくしよう！！

宇田　宗弘　Munehiro Uda　（准教授）　博士（スポーツ科学）

担当科目：人体の機能Ⅰ・Ⅱ、ヘルスアセスメント、生物学、基礎演習、卒業研究

研究テーマ：不活動によって生じる筋萎縮のメカニズムの解明

【高校教員の皆様】

私の授業では、知識の伝達とともに学習した知識を用いて考える力を高め、ひいては患者の状態を推測する能力を高める授業を展開しています。授業は講義とグループ学習を組み合わせて行い、学生は講義やグループ学習で学んだことをレポートにまとめて提出します（半期で２回）。提出されたレポートから個々の学生の理解度を確認するとともに、レポートの書き方や理解できていないことについてコメントを付けて学生に返却します。また授業中のメモをまとめたノートを提出させることにより、予習・復習の仕方やノートの取り方などの指導も行っており、大学で自ら学習する習慣を身につけられるように努めています。このように学生一人ひとりに向き合った教育を行い、各々の学生の成長を促すことに努めています。

【生徒の皆様】

看護学部では看護とともに、病気とその治療法、薬の作用と副作用についても勉強します。病気や薬の作用、また看護の技術や方法を理解するためには、ヒトの身体についての知識が必要不可欠です。看護師を志す生徒の皆様は、高校レベルの「生物」をしっかりと勉強して、大学で勉強する準備をしておきましょう。また日常生活における自分の身体の変化（例えば、速く走るとどうして呼吸がはやく、また深くなるのか？など）について考えて、「生物」で勉強した知識で説明できるようになっておくと、さらに大学の授業にスムーズに入っていけるでしょう。

【研究紹介】

日常生活における身体活動量の低下
入院したときのベッド上での安静（ベッドレスト）
骨折した時に行うキプス固定

→ 筋肉が痩せ細る（筋萎縮）

↓

- 筋力低下（寝たきりに繋がる）
- 生活習慣病（エネルギー代謝にも影響する）

↓

どうして筋肉を使わないと上記のようなことがおこるのか？

この仕組みを解明することにより
① 看護やリハビリテーション、介護の方法の開発
② 生活習慣病の予防方法の開発
などに貢献することが期待できる。

Uda et al., Potential roles of neuronal nitric oxide synthase and the PTEN-induced kinase 1 (PINK1)/Parkin pathway for mitochondrial protein degradation in disuse-induced soleus muscle atrophy in adult rats. PLoS ONE, 2020, 15(12): e0243660.

川村　泰子　　看護学修士　准教授
KAWAMURA　TAIKO
保健師（*Public Health Nurse*）
看護師（ *Nurse*）
精神保健福祉士（ *Psychiatric Social Worker*）

【担当科目】

家族看護学
個人・家族・集団・組織の支援
公衆衛生看護活動論・公衆衛生看護活動展開論・公衆衛生看護管理論
国際看護論・卒業研究・公衆衛生看護学実習　など

【社会貢献】

☆青森SCD/MSA友の会
難病患者さんのグループ活動を支援しています。
☆自治体のこころの相談（精神保健福祉相談)を担当

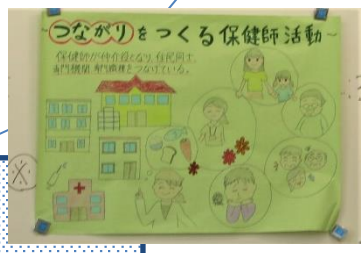
保健師と会ったことがありますか？
保健師は看護職のひとつです
あなたは、赤ちゃんの時に会っているはずです
ライフステージ（赤ちゃんから高齢者まで）のすべてにおいて、いつもどこかで見守り、困ったときに支え、時には背中をしてくれるのです。

What can I do?

保健師の専門領域は公衆衛生看護学です。
一緒に学びましょう！！

【研究テーマ】

☆青森県派遣保健師
☆保健師の行う家庭訪問



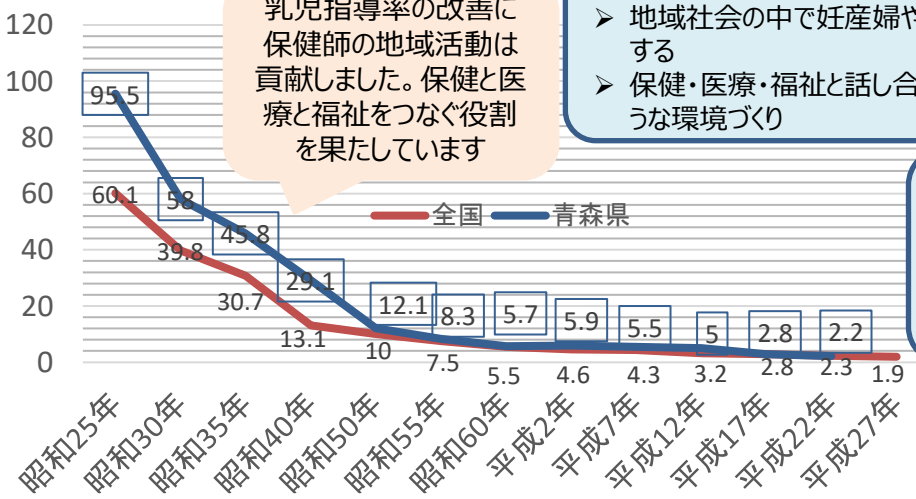
【国際貢献】

JICAプロジェクト（健康教育）で、ジャマイカ国派遣

【公衆衛生看護学実習】

青森県内保健所・市町村で実習をします。
実習報告会の風景です。

保健師・・・生活の場で支援する



乳児指導率の改善に保健師の地域活動は貢献しました。保健と医療と福祉をつなぐ役割を果たしています

【地域】
- 地域社会の中で妊産婦や子どもの健康について話題にする
- 保健・医療・福祉と話し合い、それぞれの役割を果たすような環境づくり

【個人・家族】
家族の人間関係を知る
家族の歴史や文化に対応した支援
家族が考え判断する力を向上させる

幸山　靖子　KOUYAMA　YASUKO（准教授）　看護師　看護学修士

【担当科目】基礎看護技術論 基礎看護技術演習Ⅰ 基礎看護技術演習Ⅱ 基礎看護技術演習Ⅲ
看護過程論 ヘルスアセスメント 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ
プライマリヘルスケア実習Ⅰ 看護統合実習 基礎演習 卒業研究

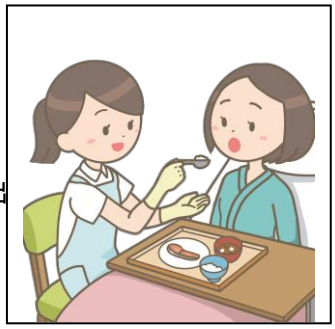
【研究テーマ】基礎看護学における授業・演習の教育方法
看護学実習における教材化

基礎看護学では、どんなことを学びますか？

「基礎看護学」では、看護に対する考え方や知識、看護技術の基本を講義・演習を通して修得します。そして臨地実習で対象者のニーズに応え、日常生活での援助を行う力を身につけます。

1 年次前期に看護の本質となる看護学概論や看護の基本となる援助技術、全身を観察する技術などを学びます。「基礎看護学実習Ⅰ」では、看護活動の場で看護の対象である患者に必要な日常生活の援助を実践するための基礎的能力を養います。後期には、食・清潔・排泄など日常生活の援助技術や、身体の仕組みと動きをアセスメントにつなげるヘルスアセスメントを学びます。2 年次では、事例を基にした看護の展開方法や採血、点滴注射などの援助技術を演習で学びます。そして、「基礎看護学実習Ⅱ」で初めて患者さんを受け持ち、看護を実践で学びます。

研究紹介「看護学臨床実習における教材化に関する研究」



看護基礎教育において臨床実習は、看護実践能力の育成上、重要であると位置づけられています。看護系大学の 5 年以上の教育経験を持つ看護教員を対象に、流動的な実習の中で生起する現象をどのように教材化しているのかについて、半構成的に面接を行いました。結果、看護教員における教材化とは抽出された 9 カテゴリー(図 1)で表される活動であり、看護教員は臨床実習の場や患者の状態を把握し調整するとともに学生の学習レディネスを把握し意欲を促進していました。また、実習における学生の経験や現象を確認し、学習可能内容を把握し看護学的な意味に到達できるように、教育的にアセスメントを行い、経験を意味づけていました。そして、看護教員の実習教育における考え方がその基盤となっていることが明らかになりました。看護教員の教材化の能力の大部分は、学会、大学進学などの自己研鑽で培われている事、またインフォーマルな同僚との話し合いから大きな学びを得ていることが分かり、看護教員になるための準備教育と継続教育のどちらも重要であることを提言しました。

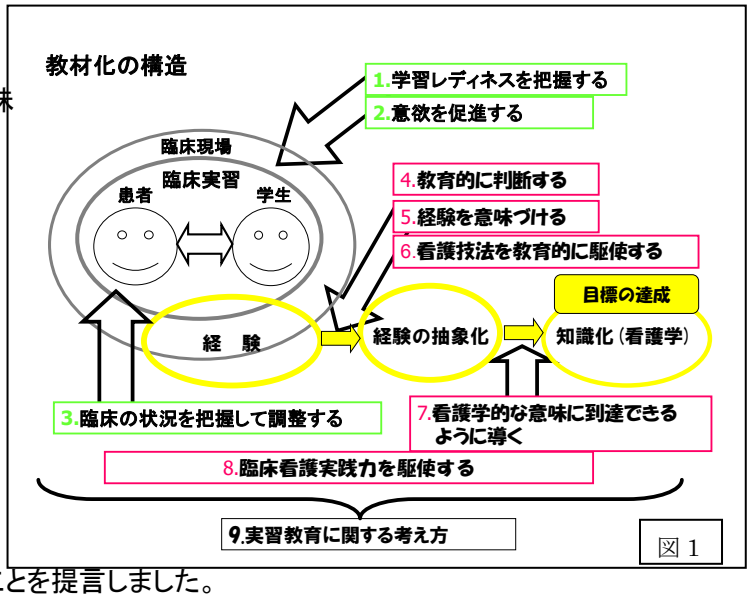


図 1

【高校生へのメッセージ】「看護学」を学ぶことを通して、“自分であるとはどういうことか”“人と関わることとはどういうことか”について一緒に考えてみませんか。

菅原大輔　sugawara daisuke　　准教授　修士（学術）看護師　精神科領域を担当しています。

【担当科目】精神看護学概論　精神看護方法論　精神看護援助論　精神科リハビリテーション論
基礎演習　精神看護学実習　卒業研究など

【研究テーマ】

①精神科臨床における患者－看護師間に生じた対立場面の分析

②精神科デイケアにおける困難性に関する研究

主に精神科臨床で働く職員の困難な場面や現状をまとめて、その状況を解決する方策について研究しています。

【精神領域の日本の現状】

日本の精神疾患を有する人は、約 419 万人とされており、なかでも 24 歳までの人数は 38 万人を超えています（厚生労働省「患者調査」，2019）。精神疾患がきわめて特殊な病気ではなく、身近な病気と捉えられてきています。

【10 代にも見られる精神疾患の代表例】

統合失調症：幻覚や妄想（陽性症状）、感情の平板化、自閉、無関心（陰性症状）などの症状を長期間繰り返しおこる病気です。

摂食障害：全く食事（水分）をとらなくなる、もしくは過食を繰り返すことで、身体的または社会的に影響を及ぼす病気です。

全般性不安障害：過剰な不安や恐怖が持続する病気です。時にはパニック発作や緘黙（話せなくなる）の症状が現れることがあります。

気分障害：躁病（気分が異常に高揚し、時に怒りやすくなる）とうつ病（抑うつ気分が持続し活動力や思考力が低下する）を繰り返し、気分の変動が激しくなる。

他にもパニック障害、強迫性障害、適応障害、パーソナリティ障害、依存症など様々見られます。

このように 10 代の学生でも精神疾患に罹患する人は多くなっている現状があります。しかし、病気とわからないことで差別や偏見につながることもありますので、病気を理解することは、対象者に向き合えることにもつながってきます。

【メッセージ】

精神看護学について学ぶと、病気に対する不安や恐怖が徐々に薄れ、身近にいる大切な人の心の乱れや病気に対して、少しでも関心を持ち接することが出来るようになると思います。また、自分自身の心の安定にもつながると思っています。

実態が見えにくい難しい領域ですが、授業では少しでも興味を持ってくれるよう、工夫してわかりやすく教えていくつもりです。

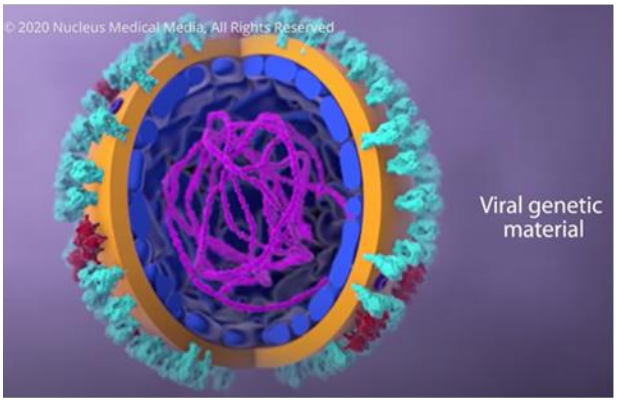
田中　真実　TANAKA　MAKOTO（准教授）　医学博士

【担当科目】　人体の構造、医療英語、生命の科学、老化と生体、卒業研究など

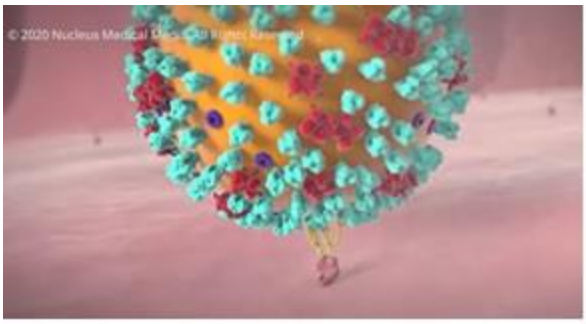
【主な研究テーマ】　冠攣縮性狭心症患者由来 iPS 細胞を用いた病態の解明

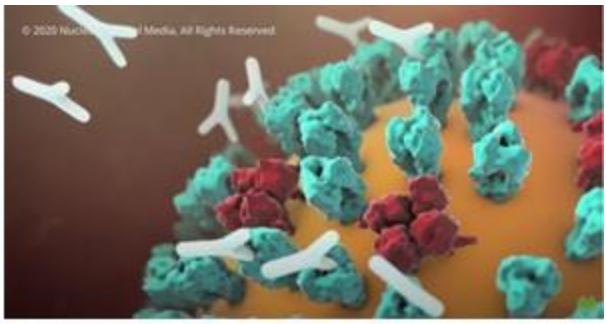
新型コロナウイルスを知ろう！

・コロナウイルスの構造

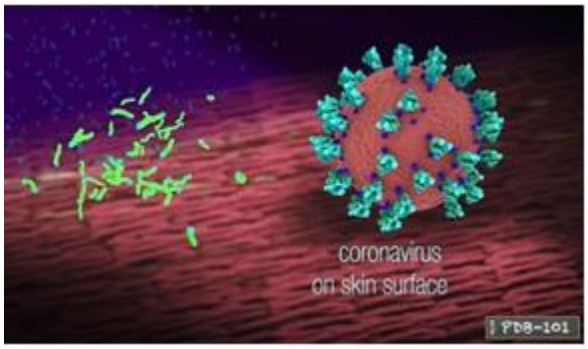


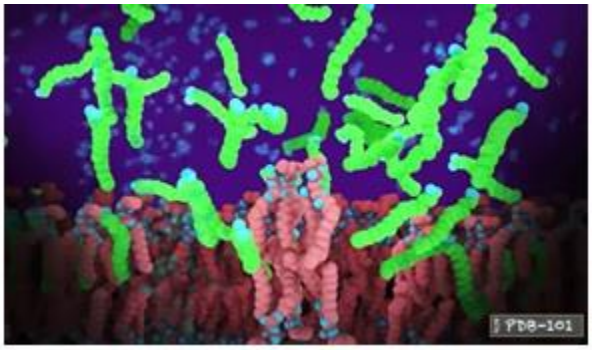
・コロナウイルスの感染、増殖及び免疫





・石鹸でコロナウイルスと戦う





・ワクチンについて

上記内容を、スライド及びアニメーションを用いて解説します。

【高校生へのメッセージ】頑張って、自分の道を切り拓こう。

小野　綾　Ono Aya　（講師）

学位・資格

【学位】
- 学士（看護学）
- 修士（看護学）

【資格】
- 看護師
- 保健師

担当科目

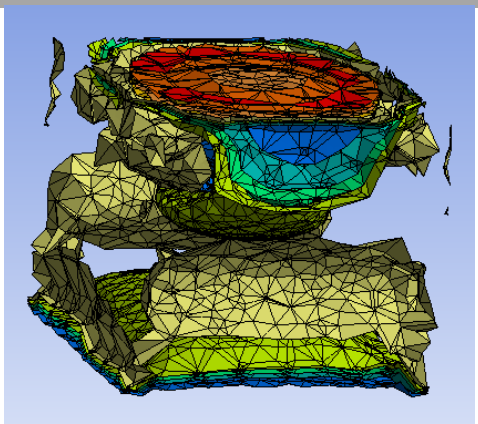
【看護学部】
- 基礎演習
- 老年看護学方法論
- 老年看護学援助論
- 老年看護学実習
- 看護統合実習
- 卒業研究

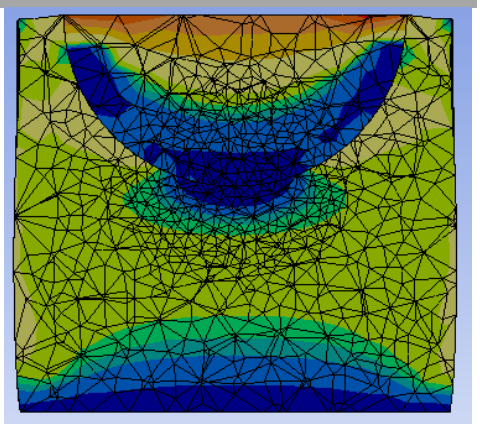
【社会福祉学部】
- 介護概論

研究テーマ

褥瘡

褥瘡（床ずれ）はまだ分かっていない事がたくさんあります。
表面からできるのか、内部からできるのかなど。これまでは褥瘡について組織学的な解明を試みました。
そして、現在は理工学的アプローチで褥瘡発生メカニズムについて研究しています。





このような事を行っています。

- センサーを作成し応力を測定
- コンピューターシミュレーション

など。

排泄ケア

私が最も大切にしているケアは排泄ケアです。人間の尊厳を守るための重要なケアです。
おむつを使う事の心理面への影響を研究しています。

足趾と歩行の関係

学生さんと卒業研究の中で研究を行っています。もし足の親指がなかったら立ったり歩いたりにどう影響するか。
模擬実験で歩行解析や画像解析を行っています。

齊藤　史恵　SAITOU　FUMIE　（講師）　看護師　修士
【担当科目】　小児看護方法論　小児看護援助論　小児看護実習　基礎演習　卒業研究など
【主な研究テーマ】　1.小児看護　2.看護教育　3.子ども　4.子育て支援

～大学で小児看護は、どんな勉強をするの？～

病気の赤ちゃんや健康な子ども、思春期の方との関わりを学び、子どもならではの世界に触れながら小児看護の役割について学習していきます。
「赤ちゃんはどうして泣いているんだろうか」、学生の皆さんが普段子どもに接したことがない状況であっても、無理のない状態で講義や演習、実習の中で、子どもの特徴を理解していくことを目指しています。
子どもの身体的発達や情緒、社会性といった人格形成の基礎となる**遊び**について考える学習を行っています。

幼児は吸入中
どんな動きを
するの？

【研究紹介：吸入処置に対する幼児の反応と、その特徴に関する観察分析～看護師、保護者の関わりとの関連についての検討～（2020）】

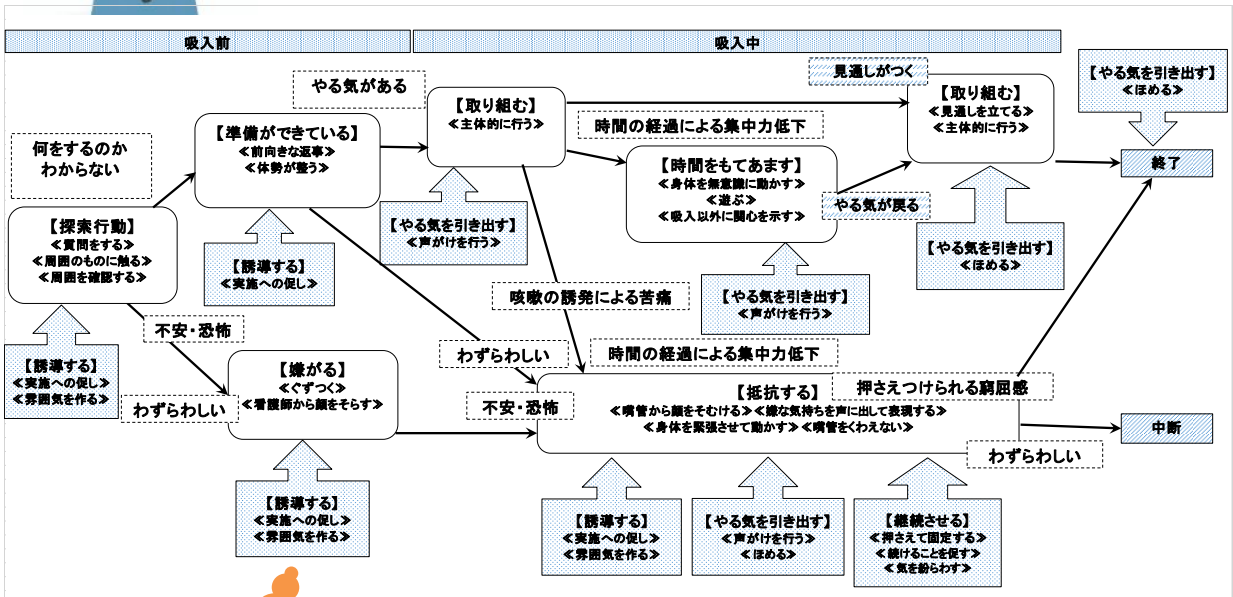


図1　吸入処置に対する幼児の反応と対応する看護師と保護者の関わり

吸入を嫌がらずにやっているときから、おもちゃなどで気を紛らわすといいよ

集中が途切れると身体を動かしちゃうよ。
大きくなってくると、集中力が切れても、
周囲の応援によって、やる気が戻るよ

【高校生へのメッセージ】遊びを通して実践できるナースに！一緒に真剣に勉強してみませんか？

髙橋　義孝　TAKAHASHI YOSHITAKA（助教）　看護学修士・看護師

【担当科目】　精神看護学実習

皆さんとは、精神看護学実習でお会いします。

精神科ってどんな感じ？　精神障がい者ってどんな人？

など、いろんな疑問を解消していきましょう。

村岡　祐介　MURAOKA　YUSUKE（助教）　看護学修士・看護師　保健師

【担当科目】　成人看護学Ⅲ・Ⅳ　成人看護学実習Ⅱ

【主な研究テーマ】　１実習における学生の満足度　２ストレス　３輸血療法

実習中の学生との関わり

病院で実習が始まるとドキドキしながら頑張っています。

患者さんとの関わりを体験したり

看護師さんとの関わりを感じたり

学生間や、教員と相談して疑問点を解決していきます。

たくさんの頑張りの中で、看護を楽しく感じられる場面がきっとあります。

実習などを通して看護師になるためのサポートをしていきたいと思います。

對馬　明美　TSUSHIMA AKEMI（助教）　看護師　保健学修士

【担当科目】　在宅看護実習　看護統合実習

【主な研究テーマ】　看護者の態度構造

例えば
・痛くて苦しんでいる時
・手術前で不安な時
・自分ひとりでは動けない時
・病気になってショックな時
・苦しんでいる家族に対して
　どうしていいかわからない時
そして、人生を終える時
必ずそばにいる職業は看護師です。

【高校生へのメッセージ】自分という人間を看護師として活かしてみませんか？

松坂　朋佳　MATSUZAKA　TOMOKA　（助教）

【資格・学位】
看護師免許、保健師免許
看護学学士、看護学修士

【担当科目】
基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ
看護統合実習

【研究テーマ】看護師の精神的健康状態、負担感に関する研究

常に「なぜだろう？」「どうしてだろう？」と疑問を持ち、
それを解決するための学習行動が大事だと考えています。
「どうしてだろう？」「もっとより良く」を大切に、看護の
面白さを伝えられたらと思っています

木田 優子 KIDA YUKO （助手） 看護師 修士（学術）
担当科目：小児看護学実習、看護統合実習
研究テーマ：医療的ケア児と家族への支援

学生さんは日々の実習の中で、「対象の方に自分ができることは何か？」と考えています。教員として、学生の言葉を傾聴し、共に対象の方にできることを根拠をもって一緒に考えることで、自分も学習をさせていただいています。
一緒に対象の方に合った看護を考えていきましょう！

村上　翔太郎　MURAKAMI　SHOTARO　（助手）

看護師・保健師

【担当科目】
基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ
看護統合実習

学生の皆さんの、一つ一つの“？”に
一緒に答えを見つけていきたいと思っています。

出張講義・模擬講義のテーマ一覧

実際に大学で行っている講義の一部をわかりやすくお話します。
将来の夢へのきっかけにしてください。お気軽にお問い合わせください。

氏名（職位）	講義テーマ	概要
柳澤　尚代（学部長・教授）	何が健康を作り出すのか	自分の生活を通して、健康について考えてもらう機会としたいと思います。
	世界における健康づくりの風潮	1986 年のヘルスプロモーションが提唱されて以後、健康の概念が変化し、その活動スタイルも大きく変化しています。
	地域で子どもたちはどのように育っているのか？	日本では、現在フィンランドのネウボラの活動を参考にした活動を推進しようとしています。大きく変わってきた日本の子どもの子育て事情をお話しいたします。
佐藤　厚子（学科長・教授）	シンデレラ姫は美を保てたか	皆さんの日常で大切なものは何でしょう。シンデレラ姫の物語を題材にして「今」「将来」にわたって大切な健康について考えましょう。
三上　聖治（教授）	疫学における森鴎外と高木兼寛	実験疫学の父とされ、我が国で最初の看護学校を造った高木兼寛と森鴎外の関係を解説します。
	人々の健康と環境	SDGs が叫ばれる昨今の環境問題について解説します。
	食と安全	食中毒や食品添加物の変遷について解説します。
	循環器疾患の疫学	心疾患と脳血管疾患について、生活習慣との関連について解説します。
大瀬　富士子（教授）	プレコンセプションヘルス	より健康に赤ちゃんを産み育てるためにできることをお伝えします。
	生命・尊厳の尊重	生命倫理について考えてみませんか。 主に赤ちゃんを産み育てることに関連した多くの倫理的課題をお伝えします。
土屋　陽子（教授）	看護のやりがいはどこにあるのでしょうか？	「看護のやりがい。看護師としての生き甲斐」について、これまでの経験を振り返って、これから看護職に進みたいと思っている皆さんにお伝えできたらと思います。
高田　まり子（教授）	病院から自宅（在宅）へつなげる看護	人工呼吸器をつけて入院生活を続けている患児が自宅療養を実現するための事例から、看護師の役割を学びましょう。
舘山　光子（教授）	看護のチカラで術後合併症を予防しよう！	手術を受ける患者さんの看護をする上で術後合併症の予防は重要です。いろいろな手術でリスクの高い「呼吸器合併症」と「深部静脈血栓症」の予防について、患者さんと一緒にできる方法についてお話しします。

阿部　智美 （准教授）	看護場面でのコミュニケーション	看護の役割や機能を紹介しながら、患者、家族、医療チームでのコミュニケーションについてお話しします。
井澤　美樹子 （准教授）	病いとともに生きる人の看護	治癒しない慢性の病いとともに生きる人の看護について深く考えます。目の前の人は患者ではないのです。
	心のつぶやきを知って気持ちを楽にしよう！	人間の感情を創る心のつぶやきを変えると、嫌な気持ちが少し楽になります。体験を通して学びましょう。
宇田　宗弘 （准教授）	ヒトの身体のはたらきについて考えてみよう	日常生活における身体のはたらきについて、主に生物学の知識をもとにしてみなさんと一緒に考えます。
	どうしてトレーニングすると筋肉が増えたり、長い距離を速く走れるようになるのか？	トレーニングのしくみについて主に生物学の知識をもとにしてみなさんと一緒に考えながら解説します。
川村　泰子 （准教授）	障害を抱えて地域で暮らす	精神疾患に伴う障害とはどのようなことうをいうのか、地域で暮らしている障害者の状況についてお話します
	看護でできる国際協力	看護職が行っている国際協力と、異なる文化や歴史を理解することの意味についてお話します。
幸山　靖子 （准教授）	What is Nursing	「看護」について、一緒に考えながらお話ししていきます。
	自分の身体を観察してみよう-循環器-	一緒に脈拍測定をおこないながら、自分の身体を観察してみませんか。
菅原　大輔 （准教授）	心の健康について	高校生が罹患しやすい精神疾患について説明します。（統合失調症、依存症、うつ病、摂取障害など）
田中　真実 （准教授）	新型コロナウイルスを知ろう	・コロナウイルスの構造、感染、増殖及び免疫 ・石鹸でコロナウイルスと戦う ・コロナウイルスのワクチンについて 上記内容を、スライド及びアニメーションを用いて解説します。
小野　綾 （講師）	認知症の世界を知る	実際に認知症になった人の語りを通し、認知症の人が感じている事や体験している事に触れてみましょう。
	年をとるってどういう事？	年を取ることは単に体が老いる事ではありません。さまざまな側面から「年をとる」という事を考えてみましょう。
齊藤　史恵 （講師）	病気の子どもを笑顔に ～小児看護と遊び～	子どもにとっての遊びの重要性を理解し、臨床場面においての遊びをとり入れた看護について学んでいきます。

弘前学院大学　看護学部は、

皆さんの挑戦を応援します！

大学の講義を体験してみよう！！

作成　２０２２年度　弘前学院大学看護学部　入試委員会